

本時のねらい

・文章中の人物の生き方を通じて、「学ぶこと」の価値や意味について考えを深める。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・学習支援ソフトのアンケート機能を活用し、生徒の意見を集約して発信する。  
・生徒同士の意見交流を、視覚面でサポートする。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Chromecast ・Google Classroom ・デジタル教科書 ・学習支援ソフト（ロイロノート） ・電子黒板

本時で育む主な情報活用能力

D-STEP4, K-STEP4

該当番号の詳細内容は  
「大阪府情報活用能力  
ステップシート」から確認できます。



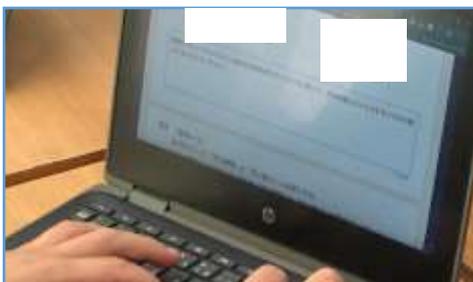
本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のめあてを確認する。 「なぜ勉強するのかについて考えを深めよう。」</li> <li>○グループでめあてについての意見交流をする。【写真1】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なぜ勉強するのか」について。</li> <li>・「大人になっても学び続けている人が身近にいるか」について。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板にも同様の問いを提示し、視覚的支援につなげる。</li> </ul>
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル教科書の範読を全体で聞く。</li> <li>○ロイロノートのアンケート機能を使い、自分の意見を提出する。【写真2】</li> <li>○集まった意見を生徒同士で見比べたり、話し合う。【写真3】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書の活用については、範読だけではなく、挿絵を大型モニターに写すことで、生徒の場面設定の理解を容易にし、自分の考えをもつことに集中させる。</li> <li>・生徒一人ひとりのタブレットに全生徒の意見が表示されるので、個々が、自分の心に留まる言葉を見つける活動に集中できる。</li> <li>・アンケート機能で生徒の意見を一括集約することで、授業後に生徒の意見を確認しやすくなる。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業者の講話を聴く。</li> </ul>	

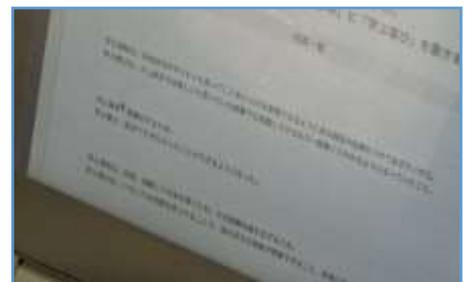
1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】班で意見を交換する様子



【写真2】タブレットに意見を打ち込む生徒の様子



【写真3】タブレットに表示されたクラスメイトの意見を見ながら考える生徒の様子

児童生徒の反応や変容

・授業開始時は、「学ぶこと」と問われても、漠然と「学習している」と答える生徒が多かったが、情報共有の場面で1人1台端末を使用することで、多くの生徒の意見に触れることができ、考えの幅が広がった。また、他の生徒や授業者の話の間で、多角的に「学ぶこと」をとらえ、進路選択につながるための学びを意識する生徒が多く見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・意見をタブレットで集約することで、発言することに抵抗のある生徒の意見も取り上げることができた。